

金ヶ作中学校学習の指針(シラバス)

教科	家庭
----	----

学年	1学年
----	-----

1 学習の目標

生活を豊かにするものの製作

1, 製作の計画を立て、手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくりましょう。

2, 生活を快適にしたり、資源や環境に配慮したりするなど、自分や家族、地域の人を豊かにするための物を製作しましょう。

購入・支払いと生活情報

1、購入方法やいろいろな支払い方法の特徴を理解し、生活情報の収集を理解しましょう。

教科書・副教材等「技術・家庭(家庭分野)」開隆堂・刺し子ティッシュケースカバー

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	備考
1 学期	家庭分野のガイダンス ○生活を豊かにするものの製作 ・ティッシュケースカバーの構成を知ろう ・製作の計画を立てよう	小学校家庭科の学習の振り返りと共に、3年間の学習内容の見直しをもつ。 ・衣服と社会生活とのかかわりを考え、衣服の社会生活上のはたらきを理解する。 ・製作の工程を理解する。 ・効率的な製作順序を考える。	
2 学期	・作ってみよう ・作品発表	・自分の好みの柄を選ぶ。 ・製作に必要な用具の種類と使い方を理解する。 ・刺し子で柄を作る。 ・本縫い、ミシンの正しい取り扱いが出来、しるし通り縫うことが出来る。 ・仕上げ、アイロンの正しい取り扱いをし、かけることが出来る。 ・お互いの作品を評価しよう。	
3 学期	・作品の評価 ○購入・支払いと生活情報 まとめ	・自分の消費行動に関心を持つ。 ・商品の購入・方法と支払い方法の特徴を理解する。 ・生活情報の収集を理解する。 ・1年間のまとめをしよう。	

3 評価の観点・方法(どのような点が、どのような場面で評価されるか)

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 の 内 容	・小物製作の構造を理解することができるか。	・自分なりに工夫しようと考えて、取り組むことができるか。	・小物製作に関心を持ち、意欲的に課題に取り組むことができるか。
	・用具の取り扱い方を正しく理解し、安全に取り扱うことができるか。 ・支払い方法の種類と特徴がわかる。 ・販売方法と支払い方法の種類と特徴が分かり、場面に応じた選択ができるか。	・自分なりに工夫した作品にしようと考え、実習することができるか。	・いろいろな商品の販売方法があることに気づいている。
評 価 の 方 法	・作品 ・活動状況の観察 ・実技テスト ・テスト	・作品	・活動状況の観察 ・プリント ・ワークシート

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ①失敗を恐れず、自力で最後までやり遂げるようにしましょう。
- ②説明をよく聞き、安全に注意して取り組みましょう。
- ③説明を聞き、指示されたように取り組むことも大切ですが、何をどうすればよいか自分で考えて取り組むことも大切です。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ①教科用のノートを用意する必要はありません。

(3) 家庭での勉強の仕方(予習、復習、宿題等)

- ①予習・・・特別な場合を除き、必要ありません。作業がある場合は、どのような作業をやるのかを考えてみましょう。
- ②復習・・・特別な場合を除き、必要ありません。
- ③宿題・・・作業等が間に合わない場合は、家庭で作業を行っていただきますが、基本的にはありません。

金ヶ作中学校学習の指針(シラバス)

教科	家庭
----	----

学年	2学年
----	-----

1 学習の目標

中学生に必要な栄養を満たす食事

- 1, 栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解しましょう。
- 2, 中学生の時期の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解しましょう。
- 3, 食品について知り、正しい選択の方法と保存の仕方を知りましょう。

日常食の調理と地域の食文化

- 1, 日常の1食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫しましょう。

教科書・副教材等 開隆堂「技術・家庭（家庭）分野」

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	備考
1 学期	ガイダンス 健康と食生活 ・食事について考える。 ・栄養素のはたらきと食品 ・食事の計画	・毎日の食生活に関心を持つことができる。 ・自分の食生活を見直し、課題を見つけその解決のために考え工夫することができる。 ・食品に含まれる栄養素の種類とその働きについて理解する。 ・献立の立て方について理解し、1日分の献立を立てることができる。	
2 学期	食品の選択と保存 ・生鮮食品の選び方 ・加工食品について 給食の献立作り	・生鮮食品とは何かを理解し、正しい選択のしかたを理解する。 ・食品加工の目的と食品保存の原理を理解する。 ・千葉県食材を使用して給食の献立作りをする。 ・食品の安全をめぐる出来事や、食品の安全を守る取り組みについて資料を基に話し合い理解する。	献立資料
3 学期	地域の食材と食文化 ・地域の食材と郷土料理 ・まとめ	・地域で生産されている食品にはどんなものがあり、その食品がどのような料理に使われているか考えることができる。 ・1年間のまとめをしよう。	

3 評価の観点・方法(どのような点が、どのような場面で評価されるか)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の取り扱い方を正しく理解できるか。 ・生活の中で食事の果たす役割を理解できるか。 ・栄養素の種類とはたらきについて理解できるか。 ・調理機器や、調理用具の正しい取り扱い方法を理解できるか。 ・食事の役割、重要性、栄養素の働き、青少年の栄養の特徴について理解できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに工夫しようと考え、課題に取り組むことができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活に関心を持ち、意欲的に課題に取り組むことができるか。 ・地域で生産されている食品について調べ、その食品を工夫した料理を考えることができるか。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・レポート ・発表 ・実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・ワークシート ・反省カード

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ①失敗を恐れず、自力で最後までやり遂げるようにしましょう。
- ②説明をよく聞き、安全に注意して取り組みましょう。
- ③説明を聞き、指示されたように取り組むことも大切ですが、何をどうすればよいか自分で考えて取り組むことも大切です。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ①教科用のノートを用意する必要はありません。ワークシートに記入をしてください。
- ②学習プリントは、ファイルを用意し、それに綴じ込んでください。

(3) 家庭での勉強の仕方(予習、復習、宿題等)

- ①予習…特別な場合を除き、必要ありません。作業がある場合は、どのような作業をやるのかを考えてみましょう。
- ②復習…特別な場合を除き、必要ありません。
- ③宿題…作業等が間に合わない場合は、家庭で作業を行ってもらいますが、基本的にはありません。

金ヶ作中学校学習の指針(シラバス)

教科	家庭
----	----

学年	3学年
----	-----

1 学習の目標

自分の成長と家族・家庭生活

- 1, 自分の成長と家族や家庭生活との関りが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解しましょう。
- 2, 家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることを理解しましょう。

教科書・副教材等 開隆堂「技術・家庭(家庭分野)」・自分史絵本作りセット

2 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	備考
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンス ○家族・家庭と子供の成長 ・私の成長と家族 ・自分史絵本の製作 	<p>中学校の3年間で一人の人間として「自立」するために学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の材料を集める。 ・自分の成長を振り返ることができる ・幼いころからこれまでをふりかえりお世話になった人々がいることに気づくことができる。 ・計画的に自分史絵本の製作を進めることができる。 	<p>課題 プリント</p>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ○わたしたちと家族・家庭と地域 ・家庭の働き ・家庭生活を支える仕事 ・私たちの家庭生活と地域 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える。 ・家庭での活動を考え、家庭にはさまざまなはたらきがあることを理解できる。 ・自分や家族の生活は、家庭の内外での活動に支えられていることに気づくことができる。 ・家庭生活と地域とのかかわりについて理解できる。 	
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史絵本の評価 ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの作品を評価する。 ・クラスの仲間に感謝することができる。 ・3年間の家庭科を振り返ることができる。 	

3 評価の観点・方法 (どのような点が、どのような場面で評価されるか)

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達と生活の特徴がわかり、家族の役割について理解できるか。 ・家庭生活について正しく理解している。 ・作業の方法を理解し、正しく取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに工夫した作品にしようと考え、製作することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活に関心を持ち、意欲的に課題に取り組むことができるか。
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・テスト ・ワークシート ・作品(自分史絵本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・ワークシート ・作品(自分史絵本) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動状況の観察 ・反省記録カード ・作品

4 学習目標を達成するためのアドバイス

(1) 授業の受け方

- ①失敗を恐れず、自力で最後までやり遂げるようにしましょう。
- ②説明をよく聞き、安全に注意して取り組みましょう。
- ③説明を聞き、指示されたように取り組むことも大切ですが、何をどうすればよいか自分で考えて取り組むことも大切です。

(2) ノートの作り方(とり方)

- ①教科用のノートを用意する必要はありません。ワークシートに記入をしてください。
- ②学習プリントは、ファイルを用意し、それに綴じ込んでください。

(3) 家庭での勉強の仕方(予習、復習、宿題等)

- ①予習・・・特別な場合を除き、必要ありません。作業がある場合は、どのような作業をやるのかを考えてみましょう。
- ②復習・・・特別な場合を除き、必要ありません。
- ③宿題・・・作業等が間に合わない場合は、家庭で作業を行ってもらいますが、基本的にはありません。